

令和2年第4回厚真町議会定例会一般質問通告一覧表

(令和2年12月10日)

通告議員氏名	質 問 の 要 旨	備考
1 伊藤富志夫	<p>1 新型コロナウイルス感染防止の取り組みについて</p> <p>(1) 感染リスクの高い医療機関、介護施設、福祉施設、学校施設等の関係者に対して、繰り返しチェックする社会的検査を行っていく必要があるのではないか。</p> <p>(2) 町内における公共工事関係者に対しても、コロナ感染防止強化を行う必要があるのではないか。</p> <p>(3) 町においてコロナ専門相談窓口の開設や、感染者が出た場合の後方支援体制づくりが必要ではないか。</p> <p>(4) 感染者の非公表に関わって、感染者に対する差別やバッシングを生まないための政治的メッセージが必要ではないか。</p> <p>2 介護保険事業A-8プランに向けて</p> <p>(1) 介護保険事業計画が第8期に向かっているが、介護現場では様々な課題を抱えており、その課題の話し合いと対策が求められている。</p> <p>①平成29年12月議会で「福祉施設関係者との定期懇談について」質問したが、懇談は進められ、対策は行われているか。</p> <p>②A-8プランに向けて、各事務局関係との話し合いも求められているが、その話し合いと対策は進められているか。</p> <p>(2) 介護保険料の今後の動きは。</p>	収受 11/30
2 橋本 豊	<p>1 北海道地域防災マスター認定者との協力体制等の強化について</p> <p>災害に強いまちづくりを提唱している本町において、日常的に防災意識を町民に感じてもらう事は必要不可欠なことである。</p> <p>本町には、北海道地域防災マスター認定者が数十名いると思うが、町と同マスターが協議を重ね、今まで以上に緊密な連携、協力体制を強化するとともに、災害時に対応できる避難訓練等を同マスターとの連携協力のとともに年数回の頻度で行うべきではないか。</p>	収受 11/30

		<p>2 循環福祉バス「めぐるくん」の柔軟な運行について</p> <p>近年、高齢者ドライバーの運転免許証返納者が増えている。本町においても、市街地から遠距離に居住している高齢者等は、運転できなくなってから移動手段に大変不便を感じている状況である。</p> <p>現行の循環福祉バス「めぐるくん」は、運行に規制があり、不便さは解消されていないので、柔軟な運行による利便性の向上を図ることができないものか。</p>	
3	森田 正樹	<p>ポイ捨て禁止について</p> <p>最近、道路脇などにレジ袋に入れられたごみや空き缶などのポイ捨てが目立つ。特に郊外の森林道に多く見受けられ、小動物に荒らされ、道いっぱいに散乱していることもある。そのことから、ポイ捨てを禁止する啓発看板の数を多くしたり、ポスターやパンフレットの作成による啓発強化、また、ポイ捨て禁止条例を制定するなど、生活環境の向上を図る必要があるのではないか。</p>	<p>収受 12/2</p>
4	秋永 徹	<p>1 コロナ禍における本町産業への影響について</p> <p>コロナ禍における本町の農林水産業及び飲食店をはじめとする商工業、観光業への影響及び見込みはどうか。</p> <p>2 新型コロナウイルス感染症の関連対策事業について</p> <p>経営継続補助金（1次、2次）、高収益作物次期作支援交付金、持続化給付金、北海道経営継続化臨時特別支援金、家賃支援給付金の申請状況及び採択状況は。</p> <p>また、持続化給付金の申請要件が50%以上の減収について交付されるが、50%未満の減収については、手当を考えていないのか。</p> <p>3 牛マルキンについて</p> <p>牛マルキン（肉用牛肥育経営安定交付金制度）の対象者はいるのか。</p> <p>また、牛マルキンの素牛価格が下落しているが、この手当についてどのように考えているのか。</p> <p>4 令和3年度の水田の生産調整について</p> <p>現在、国では調整をしていると思われるが、本町の令和3年度における水田の生産調整の見通しは。</p>	<p>収受 12/2</p>

5	下司 義之	<p>1 交通安全対策</p> <p>厚真町では交通死亡事故1000日を達成し、町交通安全推進委員会に感謝状が贈呈された。</p> <p>一方で、動物との衝突事故は後を絶たない状況にある。軽度のものも多く、正確な統計はされていないが、衝突やあぶない状況になった方は多いと思う。</p> <p>衝突対策として費用が安いのは笛の装着であるが、一定程度のスピードでしか効果を発揮しない様である。そこで注目されているのが、高周波を利用した撃退装置であるが、笛に比べ費用が高額となる。</p> <p>厚真町で暮らすには車は必需品であり、その事故リスクを低減する事は、町民の生命と財産を守るための対策として有効と確信する。</p> <p>撃退装置装着の誘導をしてはどうか。</p> <p>2 鳥獣害対策</p> <p>町内では、鳥獣害の産業対策として、駆除や罠の設置、侵入防止柵の設置などを行っていて、一定の効果はあるが被害は後を絶たないため、新たな取り組みをする必要もあると思う。</p> <p>高周波音を活用した撃退装置は、設置場所から70mぐらいまで有効と言われている。</p> <p>まだ試験導入の段階であるようではあるが、町内でも試験的な導入を行ってはと思うが。</p> <p>3 地域おこし協力隊</p> <p>令和2年8月から募集が始まった「厚真町企業研修型地域おこし協力隊」は、9月に1人の方が委嘱され、町内の企業に派遣されている。</p> <p>広報あつま11月号によると、「滞在型体験観光などで関係人口を増やす」事などに注目しているようである。</p> <p>11月30日付け苫小牧民報に、「町の関係人口拡大へ」、「地元有志ら新会社設立 Open Town 始動」、「第2町民登録制度やアクセスポイント創出支援」という記事が掲載された。内容的には、町観光協会と事業が重複するようであるが、この会社へ支援員を派遣した意図は。</p> <p>4 古民家再生事業</p> <p>9月25日から10月9日まで募集していた古民家活用事業提案者の公募状況は。</p>	<p>収受 12/2</p>
---	-------	---	--------------------

6	吉岡 茂樹	<p>農業振興（厚真町資源保全協議会活動）</p> <p>厚真町資源保全協議会事業については、農地の保全・水源の涵養・自然環境の保全・良好な景観の多面的機能の保全に、地域の共同により事業を行っているが、今後益々集落の過疎化・高齢化・混住化等の進行により、共同活動の困難化に伴い、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理に対する担い手の負担増加が懸念される。</p> <p>特に河川・道路の草刈り等は、各自治会全員での取り組みとなるので、今後益々支障が出ると思われるが、これらに対する町長の考えを問う。</p>	収受 12/2
---	-------	---	------------